

つながりあって元気に

34

2012年 新年号

平山光子後援会

事務所

大牟田市原山町1-5

0944-53-1661

自宅

大牟田市倉永1651

0944-58-1252

メールアドレス

mitsuko2007@tng.bbq.jp

ホームページ

www.mitsuko-hirayara.net



希望につながる
明るい年に
なりますように

二〇一二年 元旦



7月 与論島教育訪問 那間子ども園の園児さんと3歳から5歳の園児さんが、「雨にも負けず」など元気に暗唱してくれました。

昨年は、温かいご支援をいただき本当にありがとうございました。お陰様で、決意も新たに二期目の活動に取り組んでおります。

2012年、多くの困難の中で新たな一年の幕が開けました。

円高、被災地の復興、放射能汚染の問題、景気回復や若い世代の雇用、さらには安心して生活できる地域社会の基盤整備など、国内外、そして身近な暮らしの中にも課題が山積しています。

しかし、**昨年を表す漢字は「絆」**

未曾有の大震災によって改めて人の絆の力・大切さが再認識され、いろいろな意味で価値観が変わったとも言われています。物質的な豊かさや便利さの追求を最優先にして進んできたこの国の政治や経済、社会のあり方が、改めて国民によって問い直されています。

多くの課題も、人の知恵と絆の力で、きつと乗り越えていけると信じます。

大牟田市では、三期目の古賀市政がスタートしました。十二月議会の冒頭でも

古賀市長は、「二期八年、財政再建を最優先に取り組んできた。財政規律は維持しつつ、これまで実現できなかった教育や子育ての充実、まちづくり施策にもしっかりと取り組みたい。」と三期目の決意を述べられました。

帝京大学の新学科開設、多世代交流施設の建設、中学校給食の実現等、新たな大牟田市の展開に向けた動きもあります。

今年も、未来を担う子ども達の教育環境の充実をめざして、そして、生活する市民目線、働く現場の目線で、皆さまの声を市政に反映させて参ります。昨年に引き続き、温かいご支援・ご鞭撻をどうぞよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆さま方のご健勝とご多幸を心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

平山光子



議員から年賀状等の挨拶状をお送りすることは、公職選挙法で禁止とされています。この会報をもって、新年のご挨拶とさせていただきます。

光子の部屋

2012 新年号



活動報告 9月～12月



9月20日 代表質問

6月の一般質問に続いて、9月議会は代表質問を行いました。「市長の政治運営と今後のまちづくり」や「子どもが主役の学校環境づくり」などについて質問しました。(詳細は秋号に)今年度から、再質問は、自席ではなく中央の質問者席から行うようになりました。一層の緊張感で当局と向き合ってます。

10月5日～10月21日 議会報告会

市内8カ所で議会報告会を開催しました。全員が3班に分かれて参加し、会場準備、受付、司会進行、説明、答弁など、役割分担し、議会活動や市政報告を行いました。参加者は、全会場合わせて約200人と大変少なく残念でした。出席していただいた方々からは率直な意見をいただき、参加して良かったという声を寄せていただきました。



10月～12月 さまざまな地域行事に参加

秋には様々な地域や団体のイベントが開催されます。いつもたくさんの方の元気をいただきますので、できる限り出席します。



10月23日 やよい食品さんま祭り



11月3日 あげぼの文化フェスタ
光の子幼稚園の園児さんも元気に



11月12日 倉永校区の集い



12月4日 平和コンサート

母と女性教職員の会と共に

今年も母と女性教職員の皆さん方と子育てや教育環境の充実を、市長さん教育長さんに陳情しました。

また、今年是被災地から大牟田市に転入している子ども達を支援する募金活動に取り組み、集まった浄財でクリスマスプレゼントを贈りました。



11月1日 市長・教育長陳情



12月 サンタさんになって

つなぎあつて元気に

34

2012年 新年号

地域から元気発信

平山光子後援会長 江寄 アツ子



新たな年、皆さまには
どのように迎えてお
られるでしょうか。

昨年4月の市議選で
は、平山光子さんに
温かいご支援・ご支
持をいただき本当にあ

りがとつございました。お陰様で平山さん
は二期目の議席をいただき、議会報編集委
員会副委員長や農業委員など、新たな役割
も担って頑張っております。

昨年は、未曾有の大震災のために、東北
では多くの尊い命が犠牲となられ、まだま
だたくさんの方が苦しんでおられます。放
射能に汚染された地域で暮らす子どもたち
の健康が心配されます。被災地の方々が、
一日も早く安心した生活に戻れますよう
願うばかりです。

大牟田市に目を転じますと、秋の市長
選挙では、古賀市長が三期目の当選を果
たされましたが、投票率は約38%と大
変低いものでした。政治全体への失望感
が広がっているようにも思えます。

国内外の状況をみても、若い世代や子
ども達の将来への心配の種は尽きませ
ん。

しかし、一人の力は小さくてくじけそ
うになつても、仲間で力を合わせ手をつ
なぎ合えば元気になれる、として「つな
ぎあつて元気に」をモットーに、私たち
は活動してきました。困難な時だからこ
そ見直されているつなぎ合う「絆」。こ
れからも自分たちの周りから元気を発信
していきたいと思えます。

結びに、今年が幸多い一年
となりますようお祈りいたし
まして、年頭のご挨拶とさせ
ていただきます。



平山光子後援会

事務所
大牟田市原山町1-5
0944-53-1661
自宅
大牟田市倉永1651
0944-58-1252
メールアドレス
mitsuko2007@tng.bbq.jp
ホームページ
www.mitsuko-hirayama.net

十二月議会終わる

主な議案

平成22年度決算 賛成多数で認定
平成23年度補正予算
消防庁舎建設事業費 一億7965万円

(土地の購入費、実施設計費)
学校施設整備基金費 959万7千円

(学校跡地を解体、売却した収入など
学校施設を整備するために積み立て
基金を設置するもの)

市税条例の改正

軽自動車税を標準税率に

保育所設置条例の改正

歴木保育所を民間移譲

主な質問

市長選後初めての議会でした。市長選挙
の投票率の低下、世界遺産登録推進事業
費、まちづくりなどの市政公約や、帝京
大学誘致、中学校給食等に質問が集中し
ました。

決算特別委員会 10月24日

28日（H22年度決算の審査）

5日間、部局ごとに報告を受け、取り組みについて自由に質問・要望します。全く質問されない議員もおられますが、私はこの機会に、年2回の議会質問では時間が足りず取り上げられない課題を発言するようにしています。

今回は、次のような項目について質問・要望を行いました。

- ・ 発達支援や病後児保育の充実
（保健福祉部）
- ・ ホームページの工夫
（企画総務）
- ・ 男女共同参画意識啓発事業の充実
（市民部）
- ・ 35人以下学級の拡大（教育委員会）
- ・ 不登校の現状と現場への支援
（教育委員会）



10月の決算特別委員会と、3月の予算特別委員会は、自席（自分の席）から発言します。この模様もインターネットで配信されています。

深刻な不登校の状況

不登校の児童生徒は全国で13万人にのぼるといわれ深刻な課題です。不登校がひきこもりにつながっていることも指摘されています。原因は、様々な要因が絡んで複雑になっていて、一朝一夕には解決できないことが殆どです。

全国的な課題ですので、当然、国としてしっかりと検討し、学校の現状を見て対応していくべきです。

しかし、スクールカウンセラー（市内で数人）やスクールソーシャルワーカー（市内一人）の配置を見てもわかるように、現状に追いついていません。本年度から、国として、やっと少人数学級が進みました。

大牟田市の不登校の児童生徒数

毎回質問しないと明らかにされていませんが、大変厳しい状況です。数字に表れない保健室登校なども多く、学校は大変苦慮しています。福岡市や久留米市のようにきちんと情報公開すること、現場の声にしっかりと耳を傾け、支援体制を充実することを要望しました。

不登校の状況（H22年度）

出現率	小学校	全国	0.34%	大牟田市	0.62% (36人)
	中学校	全国	2.91%	大牟田市	4.37% (136人)
復帰率（学校への復帰）	福岡県		22.7%	大牟田市	11.2%

脱原発1000万人署名

成功させましょう

大江健三郎さんなど、文化人が呼びかけられた署名の最終締め切りが2月中に迫りました。福島第一原発では取り返しのつかない事故が起こりました。地震大国日本に原発は危険です。国民の声を結集して、原発に依存しない社会の実現を求めましょう。

まだ署名しておられない方はぜひよろしく願います。署名用紙は、ネットでダウンロードすることが出来ます。（脱原発1000万人署名と入力）また、連絡いただければお届けします。

電力は足りる、核のゴミはたまり続け、処分方法は確立されていないなど、原発関連の本が店頭に並んでいます。

原発はいらない（小出裕章 著）
内部被曝の真実（児玉龍彦 著）

幻冬舎新書

原発のウソ（小出裕章 著）

扶桑社新書

原発がなくても電力は足りる

（飯田哲也 監修）

宝島社